

# E-BIKE WORLD

電動アシスト自転車・Eバイク情報誌  
「Eバイクワールド」  
媒体資料

エッジプレス合同会社代表 兼 シクロライダー編集長  
松本健多朗

## 「Eバイクワールド」創刊についての挨拶①

---

エッジプレス合同会社は、電動アシスト自転車・Eバイクの情報誌「Eバイクワールド」の創刊を予定しております。

1993年にヤマハ発動機が世界初の量産電動アシスト自転車を発売して30年。2023年現在、電動アシスト自転車は大きな発展を遂げており、世界では非常に注目されているモビリティとなっています。

その一方で、メディアの情報発信に関しては小規模に留まっているのが実情です。2023年現在、日本国内での電動アシスト自転車やEバイク情報は、初心者向けの情報発信が殆どで、販売店や業界関係者に向けて発信するメディアは殆どありません。

世界では電動アシスト自転車やEバイクは、オートバイを超える規模を持つ産業として注目され、日本でも自動車・オートバイ企業を中心に、様々な企業がEバイクに参入する事例もあります。

しかし、Eバイクに取り組んでいる担当者がEバイクに関して全く知らないということもあり、専門的な情報を伝える情報誌が必要です。

## 「Eバイクワールド」創刊に関する挨拶②

---

現在、情報を伝える手段と言え、文字、動画に関わらず、ウェブが主流となっています。そんな中、あえて紙媒体の創刊を行うのは、残していくべき情報を伝え、電動アシスト自転車・Eバイク業界の発展に貢献するためです。

ウェブ上の情報は、有識者から見て正しい情報が上位に表示されるのではなく、SEO対策がされている情報が上位に表示され、明らかに間違った情報が伝えられ、重要な情報は埋もれることが少なくありません。

また、ウェブが全盛となっている今でも、一次情報としての価値は紙媒体の価値が高いと言えるでしょう。これは、ウェブ媒体はすぐに訂正や削除が簡単にできるのに加えて、情報が簡単に消失するという特徴があるからです。

一方で、紙媒体は一回市場に出すと、情報を簡単に削除することができません。また、紙媒体は国会図書館などに所蔵されるため、資料として半永久的に残ることで将来に役立ちます。

Eバイクワールドは、従来メディアには無い専門的なEバイク情報を伝えるために創刊いたします。創刊にあたり、皆様のご支援を頂けましたら幸いです。

## 媒体のコンセプト

---

- ・従来メディアでは物足りない人に向けた、電動アシスト自転車、Eバイクを中心とした情報誌。
- ・対象は、電動アシスト自転車やEバイク業界関係者（製造、販売など）に加え、これから電動アシスト自転車・Eバイク事業に参入を考えている製造、販売業者等も対象としています。
- ・個人の場合、Eバイクを所有・非所有に関わらず、Eバイクに関する情報を詳細に知りたい人を対象としています。

## 媒体概要



- ・判型：B5判 無線綴 天地257ミリ×左右182ミリ 左綴じ
- ・ページ：カラー+モノクロ込、100ページ前後を予定
- ・発行部数：30000部
- ・発行、編集、発売：エッジプレス合同会社
- ・編集長：松本健多朗

### 販売ルート

- ・紙媒体：鍬谷書店（取次会社）を通じて、全国書店、Amazon、楽天ブックス、紀伊国屋書店などのインターネット書店で販売。
- ・電子書籍：ボイジャー（電子書籍制作・取次会社）を通じて、Amazon Kindle、紀伊国屋書店、楽天Kobo、BookLive!（凸版印刷グループ）、honto、Reader Store（Sony）、ブックパス（au）、iBook Store（Apple）、理想書店（ボイジャー）といった各種電子書籍ストアで販売。

※表紙写真はイメージで変更する場合があります。

## Vol.1 企画内容

世界の電動アシスト自転車・Eバイクの情報を伝える情報誌

E-BIKE  
WORLD Vol.1  
Eバイクワールドホンダ・カワサキ・ヤマハの  
Eバイク戦略

ヴァンムーフの経営破綻から見るEバイクビジネスの難しさ

レビュー

ヤマハ・ワッシュ RT / カワサキ・ノスリス / SMALO・LX2、PX2  
コーダブルーム・レイル アクティブE/ ストリーク・アクティブカーゴトライク等

## ・ホンダ・カワサキ・ヤマハのEバイク戦略

欧州市場では500万台を突破し、オートバイを超えたビジネスとなっているEバイクは、日本の大手オートバイブランドも参入している。今回は、ホンダ・Smachari搭載車（コーダブルーム・レイルアクティブE）、カワサキ・ノスリス、ヤマハ発動機の電動アシスト自転車・Eバイクから、各社の戦略を読み解く。

## ・ヴァンムーフの経営破綻から見るEバイクビジネスの難しさ

2023年7月に破産したオランダのハイテクEバイクメーカー「ヴァンムーフ」。ヴァンムーフに限らず新興Eバイクメーカーは苦戦していることが少なくない。なぜ、新興メーカーがEバイクで苦戦するのだろうか。オランダ「ヴァンムーフ」と、中国「ホンバイク」の失敗から考察する。

## ・2023年から見る初代・ヤマハPAS（予定）

1993年11月、世界初の量産電動アシスト自転車「ヤマハ・PAS」が誕生した。2023年は初代PASが誕生して30周年を記念する年となる。30年後の現代の視点でヤマハ・初代PASを見る。

## ・Eバイクは日本の新たな輸出産業へ

日本で製造業が衰退していると言われているが、Eバイクは日本の製造業を復活させる可能性を持っている。今回は、日本の輸出関税ゼロや海外で進められているEバイク補助金などを紹介する。

## ・車体レビュー

ヤマハ・ワッシュRT、SMALO・LX2、PX2等

## ・内嶋亮のEマウンテンバイクテクニック（予定）

## ・藤原かんいちのEバイク旅行ガイド（予定）

## 価格・発売日



- ・ 販売予定価格：紙媒体1200円（税抜） / 電子書籍版1100円（税抜）
- ・ 発売予定日：2023年11月27日

現時点では不定期での刊行を予定しておりますが、将来的には定期刊行も考えております。

## 広告料金

---

- ・表4 4C1P（裏表紙、カラー、サイズ210mm×182mm）：500,000円
- ・表3 4C1P（裏表紙の裏、カラー、サイズ257mm×182mm）：400,000円
- ・表2 4C1P（表紙の裏、カラー、サイズ257mm×182mm）：450,000円
- ・普通頁4C1P（カラー、サイズ257mm×182mm）：350,000円
- ・普通頁4C見開き（カラー見開き、サイズ257mm×364mm）：600,000円
- ・普通頁1C1P（モノクロ、サイズ257mm×182mm）：180,000円

※記事広告、記事の二次使用などに関しては、別途計算致します。

広告料金には別途消費税がかかります。

## 注意事項

---

- ・見開き原稿の場合、のど（綴じ）部に3mm程度の余白部分（文字要素のない部分）を確保してください。
- ・断ち切り版原稿の場合、天地・左右とも3mm余分にとってください。社名・マークなどの欠けてはならない部分は、断ち切るところより10mm以上内側に収めてください。
- ・原稿はフルデータでの入稿をお願いします。必ず出力見本を添付してください。
- ・原稿の内容が編集ページと混同される可能性がある場合、また社会的規約に反する、また雑誌の品位を保つことができないと判断した場合は、広告掲載をお断りすることがあります。
- ・電子書籍版でも広告は原則掲載いたします。何かしらの事情で掲載を望まない場合は、掲載時に仰って頂きますと幸いです。

広告申し込み締め切り日：2023年9月29日

広告原稿締切日：2023年10月6日

## お問い合わせ先

---

エッジプレス合同会社

〒111-0053

東京都台東区浅草橋5丁目2-3 鈴和ビル2F

TEL：070-8340-6107

FAX：050-3588-6788

メールアドレス：[matsumoto@cyclorider.com](mailto:matsumoto@cyclorider.com)

担当：松本健多朗